

# 環境調和型陶磁器への取り組み

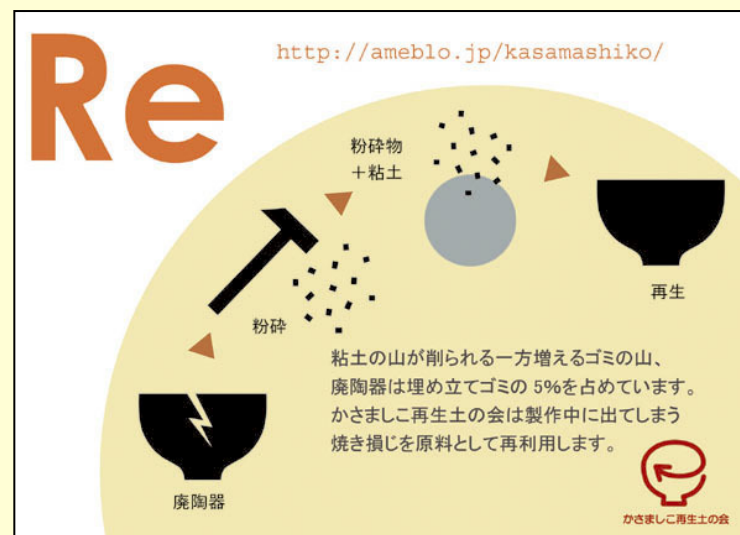
～～①「かさましこ再生土の会」～～

## 「かさましこ再生土の会」とは？

- ・笠間と益子周辺で活動する個人陶芸作家の集まり。(会員13名)
- ・製作中に生じる焼き損じを自分たちで粉碎し、粘土に混ぜ、個性を活かした創作に取り組む

## これまでの活動

- H21年 6月 笠間の陶芸家有志により発足
- H21年 9月 茨城新聞掲載（活動内容など）
- 11月 本格的な再生土実験開始
- 会員の焼き損じを粉碎し、各自の粘土に混合
- H22年 1月 益子もえぎ「Re:生まれ変わるものモノ」展に参加
- 作品の展示販売、パネル展示
- H22年 3月 粉碎実験
- 粉碎物の粒度に関する検討
- 現在 混合比率・釉薬との相性などに関する実験中



# 環境調和型陶磁器への取り組み

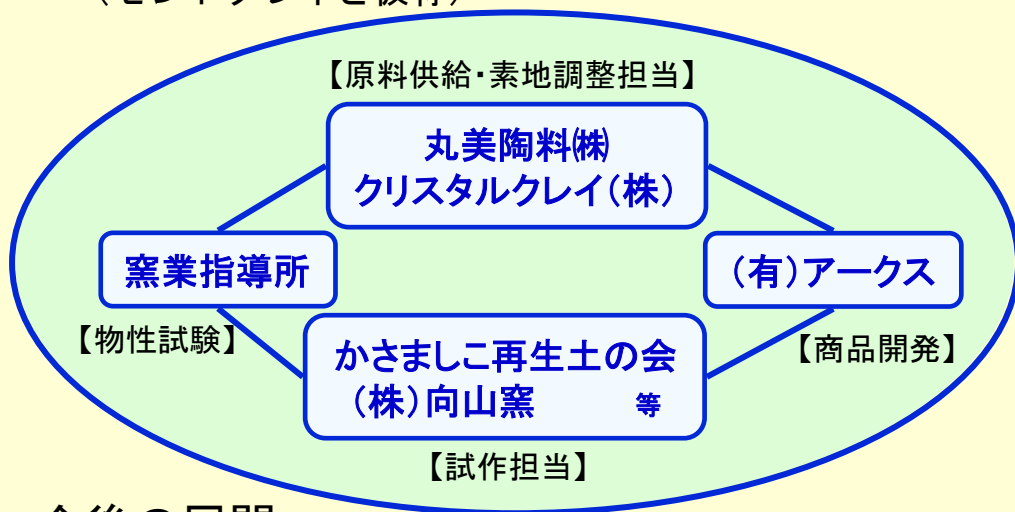
## ～～②低温焼結素地開発～～

### 目標

- ・ 廃ガラスやセルベン（回収食器）を利用し、1100℃程度の低温焼成可能な素地を開発する。
- ・ 原料準備と焼成工程におけるCO<sub>2</sub>排出量低減

### 現況

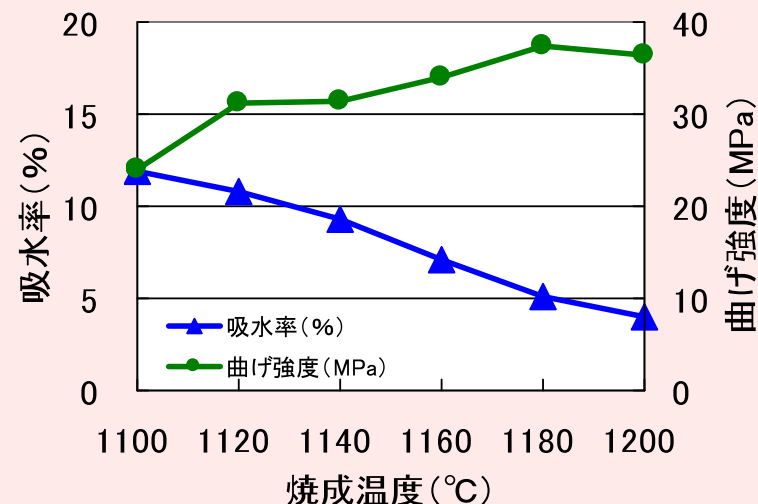
- ・ 『磁器土+廃ガラス・セルベン』素地の基礎研究段階（セントクレイと仮称）



### 今後の展開

原料販売業，製造業，陶磁器販売業，公設試が一体となり，セントクレイを用いた陶磁器商品の開発を目指します。また，セントクレイを原料として販売する事も視野に入れていきます。

### セントクレイ(仮)の物性



### LCA評価

湯飲み200g 焼成工程のCO <sub>2</sub> 排出量 CO <sub>2</sub> kg/ton (商品ton当たり)	
既存磁器食器	セントクレイ (仮)
3600	2250

37.5%削減